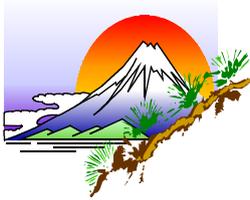




# 江南小だより

八戸市立江南小学校 学校だより  
令和3年1月18日発行  
通算 第516号

教育目標 強い子になろう



## 竹 … しなやかな強さ 協力の強さ

校長 花生 典幸

新年明けましておめでとうございます。

皆さまにとりまして、今年がよい年になりますよう、心よりお祈り申し上げますとともに、さらなるご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

さて、1月13日(水)、冬休みが終わり、子どもたちの明るい元気な声が教室にあふれ、学校に活気が戻ってきました。

この冬休みは、保護者や地域のみなさまのご協力と見守りのおかげにより、大きな事故等がなく無事に終えることができました。心より感謝申し上げます。

冬休み明け最初の講話で、わたしは子どもたちに『竹』の話をしました。

————— 竹の子どもである「タケノコ」は、一日でなんと**1メートルも生長する**そうです。みなさんもこのタケノコのように、日々ぐんぐん伸びて行ってほしいです。

竹は背が高いわりには幹が細く、一見弱そうに見えますが、実はとても強い木です。重い雪がたくさん降ってもびくともしません。雪の重さがかかっても、折れずにやわらかく曲がり、雪がなくなったら、またバネのように元に戻ろうとします。竹がもしも“曲がらない堅い強さ”だけだったら、おそらく簡単に折れてしまうことでしょう。このようなバネのようにしなる、やわらかい力を【**しなやかな強さ**】と言います。

竹のこのしなやかな強さを支えているのが【**節(ふし)**】です。

実は、みなさんの毎日にも「節=区切り」があります。毎朝、時間どおりに起きる、朝ごはんをしっかり食べる、授業のはじめと終わりに元気に声を出してあいさつをする、今日のような新しい年を迎えた最初の日、自分の新しいめあてを立てる……このように一つ一つの**節(節目)**を大事にすることで、わたしたち人間にも**リズムやけじめが生まれ、竹のようなしなやかな強さが身についていく**のです。節目も持たずに、ぼんやりとただただ過ごしていたのでは、進歩することも成長することもできません。

もう一つ、竹のすごいところは、根っこ(地下茎)が地面の中で全部つながっているということです。**根が手をつなぎ合うようにがっしりと強く結び合っている**のです。だから強風にさらされてもびくともしません。地震の時に、竹がたくさん生えている竹やぶの中に逃げ込むと安全と言われているくらいに、竹の土台は強いのです。このことを【**協力の強さ**】と呼んでもいいのかもしれませんが。

江南小学校のみなさんには、今紹介した「竹」のように、**【しなやかな強さ】と【協力の強さ】、その両方を身につけて、本当の意味での「強い子」になれるようにがんばってほしい**と思っています。

冬の寒さに負けずに、元気いっぱい楽しく学校生活が送れるよう励ましてまいります。今年もよろしくお願いいたします。

